



## 安全性データシート

発行年月日 2014年4月24日

改訂年月日 2025年11月6日


改訂番号 1.1

## 1. 化学品および会社情報

項目	内容
製品名	N35, C35, G35, SV35, S60, C60, G60, N100, C100, G100, K400(KU) (混合物)
含有成分	溶剤精製・水素化精製されたパラフィン系およびナフテン系の鉱油（ベースオイル）を主成分とする混合液
推奨用途	粘度計および密度測定機器の校正・性能確認用標準液
供給者（国内責任事業者）	株式会社エスティーエム 埼玉県入間郡毛呂山町川角 502-6 TEL 049-276-1060 FAX 049-276-1059
製造者（海外）	Cannon Instrument Company 2139 High Tech Rd., State College, PA 16803-1733, USA

## 2. 危険有害性の要約

危険有害性の種類	区分	Hコード・危険有害性情報
吸入毒性（粉じん・ミスト）	区分4	H332: 吸入すると有害
遺伝子変異原性	区分1B	H340: 遺伝子に対する変異原性のおそれ

内容	表示
GHS 絵表示	
注意喚起語 (Signal word)	危険
P-文言	
P261	粉じん／ミスト／蒸気の吸入を避けること
P304+P340	【吸入】新鮮空気に移し、呼吸しやすい姿勢で安静に保つ
その他の有害性	
<ul style="list-style-type: none"><li>中枢神経抑制（眠気、めまい、吐き気、頭痛など）の可能性</li><li>長期または反復皮膚接触で皮膚の脱脂・乾燥・皮膚炎の可能性</li></ul>	

3. 組成及び成分情報

成分名	CAS番号	含有率（質量%）	GHS区分（Hコード）
溶剤精製残油（石油）	64742-01-4	<100	発がん性1B（H350）※
溶剤精製軽質パラフィン系石油留分	64741-89-5	<100	発がん性1B（H350）※
溶剤精製重質パラフィン系石油留分	64741-88-4	<100	発がん性1B（H350）※
溶剤脱ろう重質パラフィン系石油留分	64742-65-0	<100	発がん性1B（H350）※
水素化精製重質パラフィン系石油留分	64742-54-7	<100	発がん性1B（H350）※
水素化精製重質ナフテン系石油留分	64742-52-5	<100	発がん性1B（H350）※
水素化精製重質ナフサ（石油）	64742-48-9	<100	遺伝子変異原性1B（H340）、発がん性1B（H350）※
クロロアルカン類	61788-76-9	<100	データなし

※>3% DMSO抽出物に該当しない当該製品では混合物としてCarc./Muta.区分は採用していない（英語版SDSセクション11参照）

本製品は、溶剤精製または水素化精製されたパラフィン系およびナフテン系の高精製鉱油（潤滑油基油）を主成分とする混合物です。

4. 応急措置

経路	応急処置
吸入	新鮮空気へ移動し安静。呼吸困難時は医師の診察を受ける。
皮膚接触	温水と石けんで洗浄。汚染衣類は再使用前に洗浄。症状があれば医師受診。
眼への暴露	多量の水で洗眼。刺激が持続する場合は眼科医を受診。
飲み込み	嘔吐禁止。口をすすぎ、意識のない者には何も与えない。直ちに医師へ連絡。
応急処置者の保護	火源除去。呼吸用保護具・手袋・保護眼鏡を着用し、皮膚・衣類・眼との接触を避ける。

## 5. 火災時の措置

- **使用可能な消火剤**：周囲状況に応じた消火剤（粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、水スプレーなど）を使用
- **使用してはならない消火剤**：特に指定なし
- **特有の危険性**：燃焼により有害ガス（CO、CO<sub>2</sub>）が発生する可能性
- **消火者保護具**：正圧式 SCBA（自給式呼吸器）、耐火防護服、保護手袋、防護眼鏡／フェイスシールドを着用
- **消火活動上の注意**：風上から行動し、安全距離を確保。周囲の容器を水で冷却。消火水は環境汚染防止のため回収・適切に処理

## 6. 漏出時の措置

### 人体への保護措置

- 無関係者の立ち入りを禁止
- 有機蒸気用防毒マスク、保護手袋、ゴーグル、防護衣を着用
- 火気・静電気を除去し、十分に換気

### 環境汚染防止策

- 下水道、河川、土壌への流出を防ぐ
- 大量漏出時は自治体や環境当局に通報

### 封じ込めおよび収集方法

- 不燃性吸収材（砂、珪藻土、バーミキュライト等）で吸着し、密閉容器に回収
- 静電気防止措置を徹底
- 回収物はラベル表示の上、許可を受けた廃棄業者に処理依頼

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い時の注意：

- 換気（局所排気または全体換気）を十分に行い、蒸気やミストの吸入を防止する。
- 火気・高温・火花・静電気を避け、引火源から離して作業する。
- 必要に応じて保護具を着用（セクション8参照）。
- 作業中は飲食・喫煙禁止。作業後は手洗い・うがいを励行し、汚染衣類は再使用前に洗浄。
- 強酸・強塩基・酸化剤との接触を避ける。

### 衛生管理

- 作業場への無関係者立入禁止。
- 休憩エリアに汚染された保護具を持ち込まない。

### 保管条件：

- 容器を密閉し、冷暗所で換気の良い場所に直立保管。
- 直射日光・高温・多湿を避ける。
- 識別ラベルを貼付し、混合不可物質から隔離。
- 子供や無関係者の手の届かない場所に保管。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度・許容濃度（参考値）

- 水素化精製重質ナフサ（石油）〔CAS: 64742-48-9〕：
  - TWA（8h時間加重平均値） 50 ppm（約300 mg/m<sup>3</sup>）
  - STEL（短時間曝露限界） 100 ppm（約600 mg/m<sup>3</sup>）

### 工学的対策

- 局所排気や換気設備で蒸気・ミストの拡散を防止。
- 防爆仕様設備、静電気防止対策を導入。

### 個人用保護具

用途	保護具内容
呼吸用	有機ガス用防毒マスク ※通常条件では不要
手の保護	耐溶剤性手袋（ニトリルゴム製等）
眼の保護	保護メガネまたはフェイスシールド
皮膚・身体	長袖防護衣、耐油作業衣

### 衛生対策

- 作業後は必ず手洗い・うがいを行う。
- 汚染衣類は洗浄後に再使用。
- 作業場に洗眼器・シャワーを設置。

### 環境管理

- 排気・排水は環境規制に適合させる。
  - 大量漏出時は環境主管部署に通報。
-

**9. 物理的及び化学的性質**

項目	記載内容
外観／状態	淡黄色液体
匂い	炭化水素様
沸点範囲	>315 ° C
引火点	>190 ° C (開カップ法)
粘度 (動粘度)	32～380 cSt (@40 ° C)
水溶性	水に不溶、他の有機溶媒に可溶
蒸気圧・蒸気比重	データなし
融点／凝固点	データなし
自動着火温度／爆発範囲	データなし

**10. 安定性及び反応性**

- **安定性**：通常の使用・保管条件下で安定。
- **危険反応の可能性**：通常の使用条件下では反応しない。
- **避けるべき条件**：火気、高温、静電気、酸化剤との接触。
- **危険な分解生成物**：燃焼時にCO（一酸化炭素）、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）が発生する可能性あり。
- **感電・爆発危険性**：静電気放電による着火の可能性あり。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性（推定値）

- 溶剤精製重質パラフィン系石油留分：経口LD<sub>50</sub> > 5000 mg/kg（ラット）、経皮LD<sub>50</sub> > 2000 mg/kg（ウサギ）、吸入LC<sub>50</sub> > 5530 mg/m<sup>3</sup>（ラット、4h）
- 溶剤精製軽質パラフィン系石油留分：経口LD<sub>50</sub> > 15000 mg/kg（ラット）、経皮LD<sub>50</sub> > 5000 mg/kg（ウサギ）、吸入LC<sub>50</sub> = 2.18 mg/L（ラット、4h）
- 水素化精製重質ナフサ（石油）：経口LD<sub>50</sub> > 5000 mg/kg（ラット）、経皮LD<sub>50</sub> > 3160 mg/kg（ウサギ）、吸入LC<sub>50</sub> > 8500 mg/m<sup>3</sup>（ラット、4h）

### 刺激性・腐食性

- 皮膚：長期または反復接触により皮膚の脂分を奪い、皮膚炎を引き起こす可能性あり。
- 眼：刺激性を有する可能性あり。

### 感作性

- 呼吸器感作性：該当なし
- 皮膚感作性：該当なし

### 発がん性

- 区分1B（H350）に該当する成分を含有。  
※>3% DMSO抽出物を含む場合に限る分類で、本製品の石油留分はその条件に該当しない

### 遺伝子変異原性

- 区分1B（H340）に該当する成分を含有。

### 誤えん有害性

- 区分1（H304）：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれあり。

### 特定標的臓器毒性（単回・反復ばく露）

- 単回ばく露：中枢神経抑制による眠気やめまいの可能性あり。
- 反復ばく露：該当なし。

## 12. 環境影響情報

### 水生毒性（石油留分）

- 各石油留分は、魚類（*Oncorhynchus mykiss* など）およびミジンコ（*Daphnia magna*）に対して LC<sub>50</sub>、EC<sub>50</sub>がいずれも 1000 mg/L 以上（48～96h 試験）であり、急性毒性は比較的低い。
- 水素化精製重質ナフサは一部の海水生物に低濃度で影響を与える報告あり（LC<sub>50</sub> ≈ 2.6 mg/L, *Chaetogammarus marinus*）。

生分解性：情報なし

生体蓄積性：一部成分は log P > 3 であり、生物蓄積の可能性がある。

PBT/vPvB 判定：該当情報なし



13. 廃棄上の注意

- 本製品および未使用残渣は家庭ごみとして廃棄せず、法令に基づき産業廃棄物処理業者に委託すること。
- 汚染された容器や包装は再利用せず、内容物を完全に除去し密閉の上、専門業者に処理を依頼する。
- 消火や漏洩で使用した吸収材・汚染物も同様に処理し、下水道・河川・土壌への流出を防ぐ。
- リサイクル困難な場合は焼却処理や封じ込め処理を実施し、処理方法が法令に適合していることを確認する。

14. 輸送上の注意

項目	内容
UN番号	該当なし（非危険物）
輸送上の名称	該当なし
危険物クラス	該当なし
包装等級	該当なし
海上汚染性	無し（環境有害性なしと分類）
限定数量	適用あり（詳細は輸送モード別規則に従う）
その他	未洗浄容器の切断・溶接・研磨は禁止（残留蒸気による爆発リスク）

注意事項

- 輸送中は容器を密閉し、転倒や損傷を防ぐため固定すること。
- 高温・直射日光を避け、火気源から離すこと。
- 積み降ろし作業時は保護具を着用すること。

15. 適用法令

法令名	該当性	備考（管理番号や分類など）
労働安全衛生法（安衛法）	該当	GHS 区分によりラベル表示・SDS 提供義務あり（法第 57 条）
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	非該当	各成分は毒物・劇物に該当しない
特定化学物質障害予防規則（特化則）	非該当	ただし発がん性物質含有のためリスクアセスメント対象
有機溶剤中毒予防規則（有機則）	該当	第 2 種有機溶剤等（ナフサ類）
PRTR 法（化管法）	非該当	指定化学物質該当なし
消防法（危険物規制）	非該当	引火点 190℃超につき第 4 類危険物には該当しない
化学物質審査規制法（化審法）	非該当	優先評価化学物質等の指定なし

## 16. その他の情報

- 発行日：2014年4月24日
- 改訂日：2025年11月6日
- 参照元SDS（英語版）：Revision Date 2017-08-29
- 略語：

GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）

TWA：Time Weighted Average（時間加重平均値）

STEL：Short-Term Exposure Limit（短時間曝露限界値）

OEL：Occupational Exposure Limit（作業環境許容濃度）

LD<sub>50</sub>：半数致死量

LC<sub>50</sub>：半数致死濃度

EC<sub>50</sub>：半数影響濃度

PBT：難分解性・高蓄積性・高毒性物質

vPvB：非常に難分解性・非常に高蓄積性物質

- 参考文献：

- 欧州CLP規則（EC 1272/2008）
- JIS Z 7252:2019（化学品の分類に基づく表示及び文書による警告）
- JIS Z 7253:2019（安全データシートの作成方法）
- 経済産業省 GHS分類ガイダンス
- 各成分のSDS（製造者公表値）

### 免責事項：

本SDSは、現時点で入手可能な情報と知見に基づいて作成したものであり、安全性を完全に保証するものではありません。本資料は、化学品の適正な取扱い、安全対策、法令遵守のための参考資料であり、特定の使用条件における適合性や性能を保証するものではありません。使用者は、適用される法規制および使用条件に従って、本製品を安全に取り扱う責任を負います。

---

安全データシート終わり